


東北ブロック 米沢大会 9月22日 (金)

テーマ「鷹山公現る 大胆なチャレンジ 21世紀の地域(くに)づくり」

会場 米沢市市民文化会館

基調講演 童門冬二氏による講演

全国のYEGの皆さん特に東北ブロックの皆さん！米沢 YEG は今熱く燃えております。会員全員がブロック大会開催の名譽と責任をもち米沢及び地域のために 21世紀を明日にひかえ米沢 YEG は真剣にそして大胆に地域づくりにチャレンジしてあります。まさにその集大成とも言えるものがブロック大会で披露されんとしてあります。しかしこの事業は永遠のテーマでもあります。さらなる進化のための米沢 YEG はまだまだ戦い続けます。是非大会に参加していただいて、この永遠のテーマと一緒に戦いましょう。また、大懇親会では天下の米沢民はもちろぬ、あのまんざりラーメンを始めとし各種米沢ラーメンそして全国の温泉もたくさんあります。米沢 YEG 心を1つにし「お迎えするところ」を大切にします。よろしくをお願いします。



北海道ブロック 砂川大会 9月2日 (土)

テーマ「連携」新たな視点、今こそ見せよう負けられない力

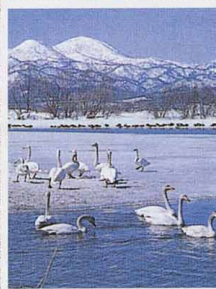
会場 砂川公民館・砂川パークホテル・上砂川町民センター

分科会 テーマ「連携」(上砂川町民センター)

講師 倉本 聡 先生

■大会プログラム

- 9月1日 (金) ゴルフ大会 砂川オアシスゴルフコース
前泊者懇親会 上砂川温泉
- 9月2日 (土) 会長会議 砂川市公民館
式典 砂川パークホテル
分科会 上砂川町民センター



新未来創造に向けて

ブロック大会に集え!

地域を結び、時代をつなげ

北陸信越ブロック 魚津大会 9月20-21日 (水・木)

テーマ「しんきろう伝説」が今蘇える!! じゃんと恋 2000」

会場 新川文化ホール・東京第一ホテル魚津

分科会

- 第1 自転車屋から、日本最大級のパチンコの道のり
- 第2 蜷気楼伝説から時代を学ぶ
- 第3 深層水の神秘
- 第4 世界のYKKに学ぶ 『更なるCorporate Valueを求めて』



関東ブロック 相模原大会 10月13日 (金)


テーマ「友だち100人つくろうよ! てるてるの里から始まるYEG交流」

会場 グリーンホール相模大野、相模大野駅周辺他

分科会

- 第1「ベンチャービジネス勝利の方程式」
- 第2「デジタルからアナログへ 史上最大のオンラインミーティング」
- 第3「相模大野トレジャーハンティング」

※大会期間中同時開催
神奈川物産展、ビジネス交流プラザ
県下青年部活動紹介ブース




近畿ブロック 宮津大会 9月7-8日 (水・木)

テーマ「原点からの発信 人の輪・智恵の輪・黒ちくわ」

会場 宮津会館・(仮称)歴史の館・宮津市民体育館

■宮津 YEG45 周年記念「発祥の地記念碑」除幕式
■近畿ブロック会長会議 ■近畿ブロック協議会総会

今をさかのぼること45年前、京都府の小さな小さな「宮津」という町で血氣盛んな若者たちの手により、日本で最初の商工会議所青年部が誕生いたしました。この小さな田舎町の出来事が、それから数十年の歳月をかけ、今では YEG として全国に広まり、21世紀の日本の経済を担う大きな大きな力になりました。ミレニアムブロック大会は、「天橋立」「元伊勢神宮」のある歴史の町「宮津」で、「原点からの発信」というテーマで開催されます。



東海ブロック 鳥羽大会 9月29日 (金)

テーマ「ITS翔大夢(イツショウウタイム)」

会場 三重県営サンアリーナ・鳥羽御本木真珠島

「大きな夢の実現に、飛翔する・商売する・思いきり生きる」をテーマに、21世紀への経済発展のための責務を担う青年経済人として実りのあるブロック大会をめざす。全国有数の観光地・鳥羽市においても、長引く不況と景気の低迷による影響、観光客のニーズの多様化により、観光客の減少は下降の一途を辿り、鳥羽市の基幹産業である観光産業をはじめ各産業の経営環境は一段と厳しい状況になっている。西暦2000年に主管となる東海ブロック大会では、国際観光文化都市鳥羽市の魅力である既存の観光施設はもとより、新旧様々な歴史・文化(食文化等)・芸能を最大限に体感してもらおう。本大会を契機として新たに全国に先駆ける新しい集客交流産業の開発・新たな魅力を創出し、東海ブロック各地に鳥羽市のPR・情報発信をする。また、会員相互の企業間交流を深めるとともに、地域連携を回り、市場の拡大と地域中小商業の振興・活性化を目的とする。



中国ブロック 鳥取大会 10月21日 (土)

テーマ「風・流・砂・渡 鳥取見聞録」

会場 グリーンホール相模大野、相模大野駅周辺他

分科会

- 第1 砂丘周遊見学
- 第2 少子化問題についてパネルディスカッション
- 第3 癒し…温泉と健康について

※大会期間中同時開催
郷土物産展開催予定・技術交流プラザ
広報誌掲示板



四国ブロック 善通寺大会 9月4-5日 (土・日)

テーマ「さあ 新たな世紀へ! 空海の里 まんでがん 善通寺」

会場 善通寺市民会館 善通寺市民体育館 善通寺商工会議所 善通寺市内各地

分科会

- 第1 中心市街地活性化について
- 第2 地元団体代表者による講演会
- 第3 地元団体代表者による講演会




九州ブロック 柳川大会 10月14-15日 (土・日)

テーマ「21世紀へのプロローグ・燃やせ若き情熱!九州創世紀」

会場 柳川市民会館

分科会

- 第1 有明海探訪
- 第2 ソーラーボート体験レポート
- 第3 講演会 韓アサヒ飲料 諸岡氏
- 第4 柳川歴史探訪



委員会紹介

総務委員会

今年度の総務委員会では、以下の事業を計画しております。

1. 総会、役員会の開催運営（懇親会を含めた進行）
2. 規約・組織・各大会等の検討
3. 対外的な活動の窓口担当（渉外担当）
4. 会員拡大の援助
5. その他（他の委員会に属さない事項の検討）

この中で特に長年の懸案となっておりました、規約・組織・各大会につきまして、集中的に協議を重ね、今年度中にある程度の決定までこぎつけたいと思います。現在各大会のあり方につきましては企画委員会と合同で検討しております。以上一年間よろしくお祈りします。



企画委員会

全国大会と全国会長研修会、そして今年度からブロック大会という商青連の重要事業に関する業務を担当する我が企画委員会では、主管地YEG、開催地YEGの方々が大会の企画・運営をやりやすいように、開催地決定から開催までの一連の業務を見直し、改善していくと計画しております。3つの大会にはそれぞれ固有の目的があります。主催者である商青連は、主管、開催地YEGにその目的を達成していただくべく、知恵を絞り、汗をかくことを願うのです。そのためには、各大会の目的をより分かりやすく示していくことも必要と考えています。開催要綱も含め改善すべきところは改善してまいります。

例年どおり、今後の全国大会、会長研修会の開催地選定に関わる業務も公正に進めてまいります。「素朴な疑問を大切に」を合言葉に、古泉副会長のご指導の下、大脇、池田、高部、榊原、首藤、八巻の強力メンバーで、一年間、戦っていききたいと思います。戦う青年部の先鋒隊として……。



広報委員会

今年度、広報委員長を仰せつかりました、山口県徳山YEGより出向の田中拓朗です。

広報は他の委員会と違い、目先の変わった事業を多々取り入れられますので、今年度のスタッフものびのびやらせて頂いております。又、倉橋会長の方針も外に積極的にPRするよう言われていますので、その点しっかり検討しているところです。今年度次の様に考えておりますが、皆様いろんなご注文いたすことと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。尚、委員会スタッフのご紹介は編集後記にて行いますので是非見て下さい。

今年度の方針

青年部活動の活性化を図るため、情報を収集し発信していくと共に、商青連活動を様々なメディアを用いて、内外に積極的にPRしていく。

- ①機関紙「翔生」の編集・発行・配布
- ②日商発行の「石垣(月刊誌)」、「会議所ニュース(旬刊誌)」による青年部活動の紹介と購読の促進
- ③商青連ホームページの改訂・利用促進
- ④商青連及び商青連活動の対外PR



研修委員会

今年度研修委員長を仰せつかりました、秋田県連は火花の町大曲YEGより出向させて頂いております藤田でございます。当研修委員会は、担当の服部起久副会長を加えた計10名のメンバーで、如何に全国のメンバーが自分の事業のヒントにあるいは各地域の活性化に貢献できるか、といったテーマで研修メニュー作成を継続中ですが研修事業が、いくらかでも各メンバーのヒントになれば、これに勝るお返しはないと考えております。また、他のメンバーのみならず、当事者としても、研修メニュー作成を通して、皆様以上の成果を享受するつもりです。

手前味噌で恐縮ですが、小生は総合衣料販売業を営んでおりますが、ご多分に漏れずこの景況の中、日夜事業の継続・発展に四苦八苦しているのが本心であります。そんな中、頭の中で新規事業を考え暖めておりましたところ、商青連出向中、国の創業者・ベンチャー支援対策事業が飛び込んでまいりました。ダメもとで早速申請を出しましたところ、おかげさまで当支援事業秋田県第1号の補助を受けることができました。今つくづく商青連出向を感謝しております。

今後も一事業主として、また研修委員長として、会社に、地域に、そしてYEGに還元すべく、その名の通り研鑽に励んでいく所存です。一年間よろしくお祈り致します。



ブロック紹介

役員紹介

▼直前会長

北島 重利
徳島県



▼監事

前田 勤次
岐阜県



福田 有史
福岡県



▼相談役

吉本 博次
奈良県



大村 晴利
埼玉県



中国ブロック

(理事)
能美 憲二 島根県
岡田 伸政 岡山県
田村 満則 広島県
田中 拓朗 山口県



ブロック代表理事
澤 健一
(鳥取県)

北陸・信越ブロック

(理事)
高野 善誠 石川県
御子柴 安正 長野県
高橋 宏平 新潟県



ブロック代表理事
嶋田 茂
(富山県)

北海道ブロック

(理事)
永桶 裕明 北海道



ブロック代表理事
村井 順一
(北海道)

九州ブロック

(理事)
吉武 高史 佐賀県
池田 信二 長崎県
森 一弘 熊本県
山南 晋 大分県
林 靖浩 宮崎県
大脇 唯真 鹿児島県
堀川 政憲 沖縄県



ブロック代表理事
福田 義彦
(福岡県)

関東ブロック

(理事)
鈴木 悌介 神奈川県
湯浅 清二 茨城県
篠崎 利和 栃木県
藤野 伸夫 群馬県
田代 正人 埼玉県
鈴木 統 千葉県
高部 三司 静岡県



ブロック代表理事
秋山 純夫
(神奈川県)

東北ブロック

(理事)
中渡 博 青森県
藤田 晋市 秋田県
門脇 秀朗 岩手県
坂井 政行 宮城県
山田 浩樹 山形県
八巻 稔 福島県



ブロック代表理事
高橋 弘隆
(秋田県)

四国ブロック

(理事)
中村 盛彦 徳島県
水野 幸茂 愛媛県
小松 計夫 高知県



ブロック代表理事
平田 実
(香川県)

近畿ブロック

(理事)
杉本 定幸 滋賀県
首藤 俊一 大阪府
福井 秀治 兵庫県
岡本 吉良 奈良県
御前 紀朗 和歌山県
松葉 幸子 福井県



ブロック代表理事
大村 利和
(京都府)

東海ブロック

(理事)
竹川 博子 三重県
榊原 康雄 愛知県
鈴木 豊 愛知県
鎌田 真悟 岐阜県



ブロック代表理事
中西 勇
(三重県)

APEC SME 2000 REPORT

平成十二年六月十八日(日)～二十四日(土)の七日間、APEC域内中小企業者の意見交換の場である「ブルネイ・バンダリブガワン市で開催された「APEC 2000 中小企業会議」(ビジネスフォーラム)に日本側代表団(大西団長・大阪商工会議所副会頭)を始め総勢二十八名として参加、並びに会議開催地ブルネイ、近隣国マレーシアの投資環境視察を目的とし、全国商工会議所青年部連合会代表として日本商工会議所より、ブルネイ・バンダリブガワン市、マレーシアのアラランブル市に派遣された。ブルネイ・バンダリブガワン市で行なわれたAPEC 2000 中小企業会議は、昨年のニュージランドでの提案に基づき、ビジネスフォーラムに併行してEコマース・ワークショップが開催された。本会議には、オーストラリア、ブルネイ、カナダ、台湾、(中国)コンピア、香港、インドネシア、日本、マレーシア、ニュージーランド、ペルー、中国、韓国、フィリピン、シンガポール、タイ、(英国)米国の十八カ国・地域から約五百名が参加(カッコ内の国はAPEC非加盟国)した。

十八日夜、マレーシアに到着、翌十九日(月)午前十時より、マレーシア日本人商工会議所(JACITMA)において、マレーシア工業開発庁(MIDA)産業支援局長 Yew Teck Guan氏並びにJACITMA顧問、日本人大使館一等書記官、奈須野太氏より、現地投資環境についてのブリーフィングを受けた。マレーシアへの投資のサポートを行なうMIDAからは、マレーシアに対する投資の現状および優遇措置などについて、奈須野書記官からは、マレーシアの歴史的背景、過程について概観した後、①英語、②インフラ、③議会制民主主義下の政治的安定、④良好の労使関係、⑤外資誘致政策(二〇〇〇年までの外資規制の運用停止と投資環境の優位性についてブリーフィングを受けた。

午後には、ミッド・パレージョッピング・センターを視察、ミッド・パレージョッピング・センターは、一九九九年(二月)十二日、アラランブル市にジャスコ(日本)一九九九年(三月)三十一日、メトロジャスコ(マレーシア)を核店舗としてオープンした「フランス・モル」であり、シネマ十八スクリーン、ボーリング場、ローラースケート、プール、運動場を併設している。ジャスコのマレーシアへの出店は、一九八四年にマハティール首相からマレーシアの流通業界の近代化への協力依頼があり、一九八五年に一店目をオープン。一九九六年にはKL証券取引所一部上場を果たし、現在、マレーシア国内に七店舗を有する。ミッド・パレージョッピング・センターは、二七、七八〇㎡、売場面積は二二、三四〇㎡、営業収益は順調に伸びており、二〇〇〇年には約三〇〇億円の大会に達する見込みである。当地における問題としては、①フミブトラ政策(マレー人優遇制度)・会計上の問題(英国式の会計を採用、十香が店舗寿命)・②政府の介入、③AFTA(ASEAN自由貿易圏)・④国際競争などが上げられるが、日本のような大店法規制のようなものは無く地元小売業との摩擦も殆ど無い。

二十日、ブルネイに入り、今派遣の主目的であるAPEC SME ビジネスフォーラムに参加。二十日は、オープニングセレモニーが開催され、アドル・ライマン・タイプ産業一次資源省大臣より来賓挨拶の後、ハムディ・クリス・ホル氏(APEC ビジネスフォーラム議長、タイモーション氏、ABC議長、アンドリナリバー氏(Woman Leaders Network代表)、クリス・ホル氏(APEC 中小企業分野理事)からそれぞれ基調スピーチが行なわれた。二十一日と二十二日は、ビジネスフォーラムおよびEコマースワークショップが開催された。ビジネスフォーラムの主なテーマは、融資人材育成、起業家精神、EコマースではEエコノミーの

全国商工会議所青年部連合会 アントレプレナーズ委員会

促進および拡張環境の創出、能力構築等をそれぞれテーマに進められた。日本側からは、荒井敬高顧問がビジネスフォーラムにおいてアジア太平洋における起業家達と題して、ソニーやホンダといった世界的に活躍した起業家の例を挙げながら起業家の特質を分析し、アジア太平洋地域における中小企業の連携の必要性を訴えた。また、Eコマース・ワークショップにおいては、ABC日本委員(富士通総研代表取締役会長 鳴戸道郎氏、サツ・マイクロシステムズ・グループ最高顧問岡田智雄氏がパネラーを務めた。二十一日のランチにおいては、大西団長と私がスピーチを行なった。大西団長は、日本における中小企業のデジタル・デバイス対策として、商工会議所が取り組んでいる、ミレニウム・プロジェクトおよびオンライン・マーケティング・システムについて紹介された。私は、製造業を営む自社および商売における経験に基づき、17時代において「もの作り」精神の醸成が重要であることを訴えた。私のスピーチに関しては、予定が二転三転、一時はキャンセルとなったが、議長との個人的な折衝により復活し、感慨深いスピーチとなった。

四日間わたるミッションは、APEC 2000のテーマである「コミュニティへの伝達」に則して、これらの優先課題や提言を確実に実施するため、変化する各国・地域の中小企業ニーズに対応するべく、継続的にフィードバックを行なうメカニズムがAPECプロセスに組み入れられるべきであるという事を結論に幕を閉じた。

今回のミッション参加を通じて最も感じたことは、日本における女性の社会参画の遅れと、全体的な意識の低さである。今回のミッションの五〇〇名近い参加者の内、その半数近くが女性である中、日本においてはAPECのみならずこのような国際会議への女性の参加は皆無に近いのが現状のようだ。開発国、途上国の優劣はあるが、今や世界のリーダーシップを日本となつた現況において、真の意味での男女平等参画を目指す、日本女性も大和撫子の魂を持ちつつも、国際的視野を養う事が重要かつ不可欠である。また、起業家、企業家として、天から技術や知識を注入されるのを待つていくのではなく、それらを求めて自らあらゆる所へ出かけて行くことの重要性を、このミッションを通じ痛感した次第である。最期に、今回の派遣に際しご配慮頂いた関係各位に感謝、合掌。



日本人女性としてAPECにおいて初めてスピーチした竹川委員長



第20回商工会議所青年部全国大会

鹿児島大会

YEAR 2000

11

16

17

18

19

木

金

土

日



第20回商工会議所青年部全国大会
大会会長 大脇 唯真

全国のYEG会員の皆様!どうかつこって、鹿児島まへ来やったも
んせ!!

さて、我々鹿児島青年は薩摩隼人と呼ばれ、その豪快さと爆
発的な行動力で全国に知られております。

本県は温暖な気候や豊富な温泉など豊かな自然の恩恵を享受
する一方で、火山噴火や台風の襲来など常にその脅威にもさらさ
れてきた土地であります。

このように独特な風土の中で薩摩隼人の気質が育まれ、多くの
英傑が世界へと飛び出していきました。

歴史を紐解くと、「隼人の大和朝廷に対する反抗」「薩英戦争とその処理対応の速さ」「明
治維新の完遂」等々…いつも「何かが変わる」時代には薩摩の先人たちが底知れぬパワ
ーを発揮して難局を打開してまいりました。今回我々が掲げている「Mother Earth こ
こからうまれるYEG新世紀」まさしくそういう意味においても、2000年を迎えるにあたり、
新たな模索が、今YEGのみならず社会のストラクチャーの中でも要求されているところ
であります。

我々のレベルでどの程度まで、エクスプロージョンが可能かは定かではありませんが、
精一杯鹿児島県連のメンバーと企画立案の集大成をお見せできるものと確信いたして
おります。南北600kmに及ぶ郷土が有するふんだんの緑と、おいしい空気を思う存分に浴
び、温泉に浸かり心身のリフレッシュをし、「Re-turn to KAGOSHIMA!」を合い言葉に
心ゆくまで鹿児島を堪能して頂ければ幸いです。

全国のYEG会員の皆さま〜! 西暦2000年の11月16・17・18・19日には手ぐすね引
こせー、待ちっよんでな〜!!



第20回商工会議所青年部全国大会
大会実行委員長 妹尾 隆哉

全国のYEGの皆さん、こんにちは!!「2000年だよ、全員集合!!」
と言うわけで、お待たせいたしました。いよいよ第20回全国大会
鹿児島大会がやって参ります。開催地テーマは「まんまるかごしま」。
鹿児島県連が一丸となって皆さまを南の楽園、YEG天国へご案内
いたします。「これがYEGの全国大会だ!!」を満喫して頂きたい
と思います。大会の主役はもちろんあなたです。

November **11** 2000

16 木

前泊者ゴルフ
YEGヤングリーダー研修会
YEG交流会(前泊者懇親会)

17 金

商青連諸会議・分科会・懇親会・OBサロン
YEG全国まちおこし物産展
ビジネス交流プラザ

18 土

記念式典・記念講演
YEG全国まちおこし物産展
ビジネス交流プラザ

19 日

YEG全国まちおこし物産展

エクスカーション

鹿児島県連の各単会が企画しました。

鹿児島島の自然を食を技を満喫していただく
エクスカーションを準備いたしました。

平成12年11月16日(木)

YEG親睦ゴルフ大会

●いぶすきゴルフクラブ ●8:00~17:30

Aコース

●11月16日(木)から17日(金) ●1泊2日
縄文の街“こくぶ”と
晩秋の霧島路



Bコース

●11月16日(木)から17日(金) ●1泊2日
北薩摩千年の旅



Cコース

●11月16日(木)から17日(金) ●1泊2日
南薩摩周遊コース



平成12年11月17日(金)

ファミリーエクスカーション

E-1コース

●11月17日(金) ●14:00~17:00

鹿児島市内周遊コース
(同伴者用)

平成12年11月18日(土)

D-1コース

●11月18日(土)から19日(日) ●1泊2日

奄美大島自然体験ツアー



D-2コース

●11月18日(土)から20日(月) ●2泊3日

奄美大島自然体験ツアー

ファミリーエクスカーション

E-2コース

●11月18日(土) ●9:30~13:00

鹿児島市内周遊コース
(同伴者用)

Fコース

●11月18日(木)から20日(金) ●2泊3日

種子島・屋久島コース

●ご注意

17日(金)および18日(土)に実施いたしますファミリーエクスカーションは青年部メンバーのご家族
など同伴者用のエクスカーションであり、メンバー本人は分科会および記念式典・記念講演と重なる
ため参加できませんのでご注意ください。

▼ウッドベリー・コモンアウトレット視察



▲ウォール街

翔生塾 IN アメリカ

「翔生塾を終えて」

研修委員会 鎌田 真悟

六日間のアメリカ研修を終えて、ニューヨークのマーケットの凄さに圧倒されました。

ブランドのメッカらしく品揃えは各店世界一だと思われまふ。大量の品揃えの中にはやはりデッドストックやバック品もでるわけで、それぞれはしっかりとした一つの業態（フォーマット）として成り立っていました。それが、アウトレットSCでした。流通の盛んなアメリカでは、それぞれの年齢層や所得階級によって、そこにあった値段と品揃えをもって出店し、お客様にサービスを提供していました。本場のサービスは、そこに合った価格で、豊富な品揃えで、気楽に、短時間で、ショッピング出来ることなど、思いました。自分の店にとってお客様のランク付けをすることで、客層が解り、その客層を分析することで、新たな業態を作ることが出来ると思信しました。

広山氏の講演の中で、「本来のお客様と基盤が必要」と言われ、確かに、一年に一個のお客様と、百個買って下さるお客様は、違うサービスが必要になってくると思うし、メリットの提供によってより深い固定客になっていく。

B to Bの話の中でも、二千億以上のDSやGMSが仕入と商品開発をインターネットにて組みはじめたこと、どの企業も粗利の確保は商品開発しかないことは、解ってきたようで、このままでいくと、小さな小売業などひとたまりもありません、世界ナンバーワンのウォールマートは、日本でヘッドハンティングをはじめたという情報も入っています。

今後私たちが、一人の社長が頑張っていくのではなく、企業同士が組む組織を作らない限り、狩猟民族であるアメリカと、農耕民族である日本では勝ちが決まってくる気がしています。インターネットはB to C（企業と個人）よりも、確実にB to B（企業間）で発達しているようです。今回の旅で、これからの新業態のヒントと全体の方向（仕入と商品開発）が見え、今後の会社の方針に役立てていきたいと思ひます。また、一番大切なのは、常に自分を創業原点「（なんのために）Return to Basic」に置いていくことと、私たちがより起業家として必要なことだと確信しました。最後に、同行して下さった皆さんのおかげで沢山のことを学ばせていただきました、また、出発前から無理を聞いていただきましたウイングトラベルの三上さん、本当に有り難うございました。

▼熱心に講義を受ける塾生



▲ホワイトプレインズにおいて



▲ホワイトプレインズ市



◀倉橋会長と宇井副会長



▲サウスシーポート



▲ホワイトプレインズ市 市議会議場



▲広山氏の講演



▼1日目の昼食会場



地域を結ぶ、時代をつなぐYEG 新未来創造宣言!!



Shake hands in HANDA

山車・蔵・南吉の街、半田から21世紀の息吹きを...

21世紀最初の会長研修会は愛知県は名古屋から30分、常春の知多半島・半田の地で行なわれます。不況は底を打ったとはいえ、厳しい経済状況の中、青年部活動とは、単会運営や会員増強など今皆が感じている問題を、語り合い、学びあっていく場としたいと思います。

仮想半田会議感想文

会長物語（おら會橋純平です）

私 Moss、青林 YEG 会長會橋純平です。直前会長の北島輕利どんに「役に立つ商青連」とか言ってハメられ会長やつてんだ。おかげで線っには冷たくされ、子供にはバカにされ、社員には見放されさんざんだ。今回、会長義務出席の会議があると聞いて登録してたら、同じ義務出席者の事務局ドンに「おらやめた。一人で行ってけれ」って言われ義務感が両肩にずっ。あいち半田会議？蔵の街？山車の街？童話作家新美南吉の街？知るわけな一べ。南吉のこことさ小4の息子に聞いたら教科書に載ってるべって、またバカにされちゃった。あーあ。さて当日。朝早く線に空港まで車見上げてもらって。名古屋空港からバスで名古屋駅へ。へえっ。これが噂の高島屋とホテルの入っているツインタワーか！、と5階まで上ったら首がギクッと、上向いたまま首が戻らね〜。こりゃ本当におりさんスタイルだべさ。名鉄電車に乗って知多半田駅で降りたら、元気のいい半田 YEG のおにいちゃんにつられて「Aグループです」だとき。Aグループは、一見怖そうな吉本博前さんや一見おとなしそうな古泉幸造さんや一見職業は？と聞きたくなる宇井成八さんや一見スケベそうな服部起久助さんや一見賢そうな矢口伸太さんや一見もう酒入ってそうな千葉富士丸さんなど10名ほどの仲間。みんなわがままそう！。でもこんな仲間と分科会・食事・懇親会・二次会と流れ、知らぬ間に息統合。人は見かけに拠らねえ者だと痛感したさ。お互いの夢や悩みを語り尽くして、翌日の総会後の別れにはつい熱いものが、1再会を誓い硬い握手も何度ものんだも。

純平は心に響いた。こんな素晴らしい出会いと感動を与えてくれた会長研修会に来年も行こうと。そして、単会のメンバーにもこのチャンスを与えよう。帰宅した頃には首も治っていて、ますます前を見られるようになっていた。そして夕食の時、家族の前で、つい半田での感動が言葉となって出ていた。首っ子も子供たちも、パパが一回りたくましくなって帰ってきたかのように聞き入った。久しぶりに明るい食卓であった。

創策？ 全国会長研修会実行委員長 東浦右智

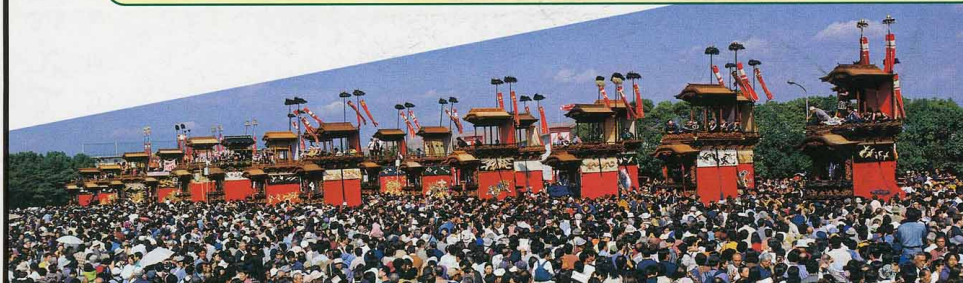


平成12年度

全国会長研修会

あいち半田会議

第18回商工会議所青年部



2001年
2月
89
木金



▲稲葉会頭の講話

まずは全国各地より、一八〇余名のご参加を頂き本当にありがとうございました。昨年度は、各地ブロック大会及び全国大会においてのヤングリーダー研修でしたが、今はい昨年スタイルに戻し、如何に特色を出すかが一重頭を悩ませたところで、開催主旨でも述べさせて頂きました。この経済不況の折、どれだけ有意義なヒントをアントレプレナーたらんとする全国のメンバーに提供できるかが最大の課題でした。研修内容について言えば、賛否両論はありますが、我が研修委員会に合格点をつけてやて頂きたいと思えます。講師の木村先生は、日経ベンチャーの編集局長としてはもちろんの事、歯に衣を着せずかなりシビアな論調であるというはある程度予備知識はありましたが、あそこまで判りやすくお話をされるとは.....

.....の現在成功されている企業を業種・所在地・社長名・経営理念等を具体的に紹介され（恐らく参加者の中には視察に行く人もいられるのでは？）、はたまた今後危ない企業をはめかすなど、本当に興

第一回
ヤングリーダー
研修会を終えて

全国商工会議所青年部連合会
研修委員長 藤田晋市



味深く拝聴させて頂きました。特に印象に残った語録では、「この景況はあと十年続く。」「ちよっとショックでしたが、その後、勝ち組みになろうと考えると、如何に生き残りをかけるか。」また、「私が危ない」と言った会社は必ず潰れる。」

「とにかく他と違った発想がなければ成功しない。」「大企業と中小企業に平等に与えられたものは時間である。だから中小企業が大企業に勝つには倍、額に汗して働かなければならない。」「成功の条件は運動である。ただ、その運を呼び込む努力が必要。」そして極めて、冒頭に話された「社長が公職に数多く就いている会社は危ない！」全国の YEG メンバーにとって本当に耳が痛いお話でした。そういった先生のお話が功を奏したのか、グループディスカッションでの熱い議論、主催者として、主権者として、全く頼もしい限りで、討議結果発表では当初いっつかのグループより発表して頂く予定が、結果的に全てのグループからお話を頂戴出来、かえって良かったと思っております。

今回の研修で参加者は言うに及ばず、成果を各地域にお持ち帰りになり、所属単会がいくらかでも活性化される事を期待しております。当研修委員会も、この度の研修会をひとつのステップとして、次回鹿鹿島での「第二回ヤングリーダー研修会」に向け、再度皆様により為になる事業を立案中ですので、今回以上のご参加何卒宜しくお願い致します。

▼今年の広報メンバーは、ほんとベストメンバー。昼も夜もフルに仕事します（田中拓朗）▼商青連活動を解りやすく見て読んでも頂く事を目的に編集いたしました。翔生に対するご意見を商青連HPにどしどしお寄せください。矢口伸二「全国をメールで結んだ編集に「心の注入ができたかな？」（田代正人）▼委員長の昼後におけるリーダーシップに脱帽「湯浅清二」一句、「出向し初めて分かる 商青連」（御子柴安正）▼(何)ニオン 小松計夫です。みんな大好き！楽しいナ！（小松計夫）▼広報委員会は、大変ユニークな人達ばかりなので（夜の部）▼楽し委員会活動をさせてもらってありがとうございます。（中渡 博）▼パワーみなぎる委員の皆様のが力が結果して、素晴らしい「翔生」が出来上がりました。（御前紀明）▼准広報委員の吉野 治（徳山 YEG）さん、お疲れまでした。次号は、30号「記念号」です。皆さんご期待下さい。（山南 晋）

編集後記

全国商工会議所青年部連合会
商青連ホームページ新装開店

ホームページをリニューアル致しました。日商のサーバーへの移行もあり期間的な遅れがあったことをお詫言致します。これから引き続き更新に努めますので、よろしくお願致します。

商青連ホームページアドレス
<http://www.cin.or.jp/yeg/index.html>